

「建替えありき」のような議論の有識者会議は、問題です 「非公開」の耐震性能分科会に市民の理解は得られません

情報公開の不足、建替え優先の論議に疑問相次ぐ

特別委員会では、「有識者会議」の議論について、複数の委員から「建替える方向での議論のようだ」との意見が出されました。耐震性能分科会の結論が出ていない中、本格的論議に入

る前に、「建替える方向」が独り歩きしてしまいます。

また、「情報提供が不十分」との苦言も出されました。

有識者会議は、様々な面で「問題あり」といえます。

「非公開」を決めたのは、有識者会議と耐震性能分科会

特別委員会では「耐震性能分科会の『非公開』を決定したのは、有識者会議の会長と耐震性能分科会の会長である」との答弁がありました。自ら「非公開」を言い出し、決める有識者会議会長と耐震性能分科会長の姿

勢は大いに問題です。

耐震性能分科会は、科学的根拠に基づき判断する場であり、「公開」で結論が変わるものではありません。むしろ非公開にしたことで、結果に疑念が持たれてしまいます。

取りまとめの段階に入った「耐震性能分科会」

非公開のまま6回開催された耐震性能分科会は、「取りまとめの段階に入っている」との説明がありました。しかし、耐震性能分科会も、有識者会議も結論の目途は示されません。不透明です。

有識者会議と耐震性能分科会の狭い範囲での人選

有識者会議のメンバー1名・財政担当の関西学院大学・小西砂千夫教授が、東洋大学・沼尾波子教授へ変更になりました。有識者会議の大学別構成は、東京大学・4人、東洋大学・2人、一般財団法人計量計画研究所・1人の7人です。2大学・1法人の構成となりました。

耐震性能分科会は、東京大学・1人、東京工業大学・2人の構成ですが、東京大学大学院・山田哲教授は長年東京工業大学に在籍されており、「耐震性能分科会」は東京工業大学関係者で占められています。身内が集まった分科会で、客観的検証ができるのでしょうか。

弁護士による「無料法律相談」のご案内

日本共産党が毎月定例で行っている無料の法律相談です。どなたでもご利用できます。また、生活相談も合わせて行っています。

「事前予約制」です。ご希望の日時に電話予約をお願いします。

●11月24日（木） 午後1時30分～4時

山本のぶひろ渡鹿生活相談所（渡鹿5-19-7） TEL 362-5181

●12月6日（火） 午後3時～5時

東区生活相談所（新生2-5-18ハイツふかだ1F） TEL 328-2656

●12月8日（木） 午後1時～4時

菜の花法律事務所（南区江越1-17-12） TEL 322-7731

●12月13日（火） 午前10時～午後4時

さくら法律事務所（京町本町1-22） TEL 090-8667-3148

●12月20日（火） 午後6時～8時

北区生活相談所（武蔵ヶ丘1-10-1） TEL 338-2001

●12月21日（水） 午前10時～12時

中央区相談会場（大江5-15-9 熊本民商会議室） TEL 328-2656

日本共産党
熊本市議会だより

NO. 1300
2022年11月13日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



熊本市中央区手取本町1-1 メール:kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
発行:日本共産党熊本市議団HP: [共産党 熊本市議団](#)

検索



上野みえこ
（中央区）



なすまどか
（東区）

過去の3分の1に減っている財政調整基金 適正額に大幅に足りない「基金」では、 大規模災害などに対応できません 過去の基金額の3分の1、政令市平均の4分の1

2021年度決算で熊本市の財政調整基金は37億円です。

長年、100億円の基金が積み立てられてきましたが、現在約3分の1に減っています。

1人当たりの金額で比較して、

・政令市平均：19,000円

・熊本市：5,000円

政令市平均の4分の1しかありません。

一般的に「財政調整基金」は標準財政規模の10～20%

一般的に財政調整基金は「標準財政規模の10～20%」が適正であると言われていています。2017年度に総務省が行った全国調査でも、「標準財政規模の一定割合」を積立している市町村のうち、最も多かったのが「5%超～20%以下」。

熊本市の標準財政規模は約2,090億円(2021年度決算)で、10%が約209億円、5%が約105億円です。最低でも100億円以上、適正規模確保ならば200億円程度となります。現在の37億円は1.8%で、適正規模に大きく足りません。

今のままでは、不測の事態に備えられない

財政調整基金は、年度間の財源調整や、大規模災害等の不測の事態が発生した際に活用されるものです。適正規模

を大きく下回る基金額では、今熊本地震のような大災害が発生すれば、十分な対応ができない可能性もあります。

財政調整基金とは、年度間の財源調整や大規模災害等の不測の事態発生時に活用を見込む積立基金

標準財政規模とは、地方自治体の標準的な状態で収入される経常一般財源の規模

電子錠付ドアで市民をシャットアウト こんな市長室があるでしょうか？

大西市長になって突然「電子錠付」に

現在の市庁舎が1981年に落成して以来、歴代4人の市長のもとで30年以上、もともとあったドアで何の支障もありませんでした。

せんでした。

なぜ、大西市長になって「電子錠」付ドアにする必要があったのでしょうか。

450万円もの改修費まで使って

以前のドアは、現庁舎が建てられた際、「市庁舎に設置された美術品」としても紹介された「肥後六花」をあしらった引手

の付いた立派なものでした。そんな由緒あるドアを、450万円も使い「電子錠付ドア」に変えてしまいました。

「開かれた市政」に逆行するものです

電子錠付ドアの前には、守衛まで配置され、厳重に出入りがチェックされています。市民が気軽に訪れることができない領域となっています。こんな市長室が、全国のどこにあるでしょうか？

でしょうか？

市民をシャットアウトするような市長室にいては、市民に寄り添い、市民の声に耳を傾けることはできません。「開かれた市政」に逆行するものです。

(国会議員さんのつぶやき)

「住民を締め出すような錠付ドアは、国会の大臣室にもない」